



奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場



現場だより本年もよろしくお願い致します。

今年の干支は「巳(み。乙巳(きのとみ)」ですね。

乙は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持つそうです。

また巳は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされているそうです。そのため乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられるようです。

工房めぐり～魅せる！現場～

R6年12月末に第2回の工房めぐりを開催しました。
今回は京都市内にある森本鋳金具製作所さんにお邪魔しました。
東楼の現場でも鋳金具を製作課程で協力をしていただいています。
社長である四代目 森本安之助氏自らと、そのお弟子さん(職人さん)の皆様にご案内していただきました。



参加者の皆様はこれまで携わってこられた数々の作品に興味津々でした



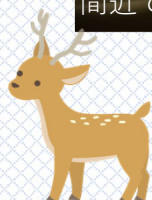
今回の案内人 四代目 森本安之助氏



間近で職人さんの技術を見ることができました



金箔押し・電気メッキ塗装・水銀メッキ塗装を比較させていただきました



■～魅せる！現場

～2025年3月20日(祝日)～現場見学会(最終回)

申込み者多数につき募集は締め切りました



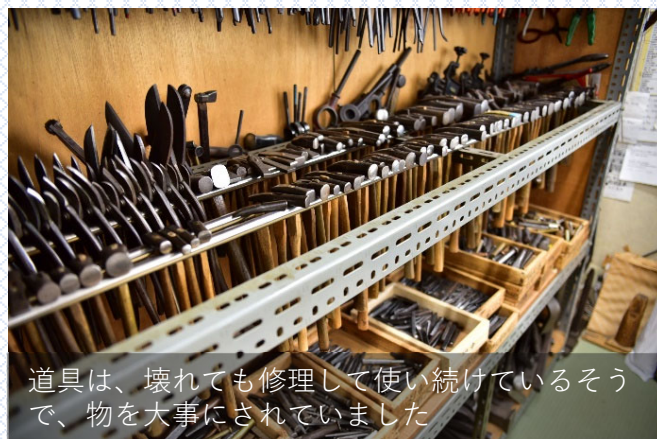
<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>



奈良時代に今を感じる 伝統技能の継承現場

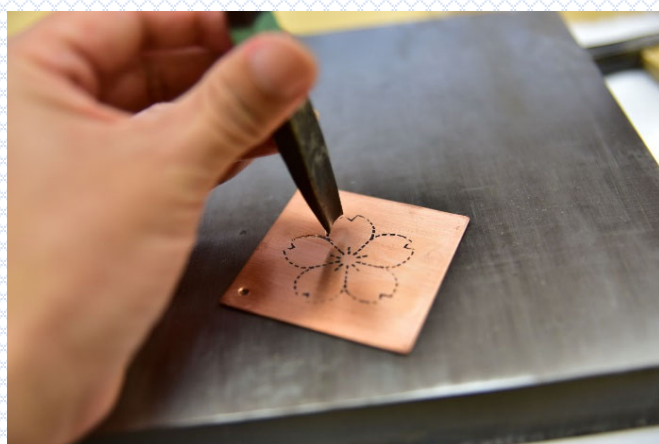


こちらの作業台は創業当初から使われているそうです



道具は、壊れても修理して使い続けているそうで、物を大事にされていました

今回の工房めぐりでも最後には銚金具製作体験をしました。それぞれ好きな模様を選び、楽しんで製作されていました。スタッフも体験しましたが、力加減が難しく、スピーディーで正確に彫金する職人さんの技術の素晴らしさを肌身で感じる貴重な体験でした。



森本銚金具製作所の皆様、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



■～魅せる！現場

～2025年3月20日（祝日）～現場見学会（最終回）

申込み者多数につき募集は締め切りました



<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>